

基本施策 A 2 まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます

主管課：景観推進室

個別施策

A2-1 地域の景観や自然など個性を活かしたまちづくりを推進します

A2-2 まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちなかをつくります

ア 施策の目的

市域全体が、まちなみ、自然等の地域の個性を活かし、魅力的になっている。

イ 基本施策の評価

C c 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2
景観重要建造物・景観重要樹木の数	17 件 (27 年度)	↑ 目標値	20	23	26	29	33
		実績値	18	19	21	21	
		達成率	90.0%	82.6%	80.8%	72.4%	
日頃、「まちづくり」等の活動や運動に参加している市民の割合	39.7% (26 年度)	↑ 目標値	43.1	44.8	46.5	48.2	50.0
		実績値	30.3	31.4	30.7	33.6	
		達成率	70.3%	70.1%	66.0%	69.7%	
【補助代替指標】 長崎の街並みや景観に誇りを感じる市民の割合 【A2-1 から再掲】	83.1% (26 年度)	↑ 目標値	84.6	85.4	86.1	86.9	87.6
		実績値	83.6	82.3	87.0	88.0	
		達成率	98.8%	96.4%	101.0%	101.3%	
【補助代替指標】 「自然やまちの景観」に関する観光客の満足度【A2-1 から再掲】	83.8% (25 年度)	↑ 目標値	86.5	87.3	88.2	89.1	90.0
		実績値	96.6	84.8	96.9	90.5	
		達成率	111.7%	97.1%	109.9%	101.6%	
【補助代替指標】 まちぶらプロジェクト認定件数【A2-2 から再掲】	0 件 (25 年度)	↑ 目標値	40	50	60	70	80
		実績値	40	51	62	68	
		達成率	100.0%	102.0%	103.3%	97.1%	

※施策の成果を補完するため、補助代替指標として、個別施策 A2-1 及び A2-2 の成果指標を再掲した。

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に対する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きいですが、まちなみ・景観づくりの施策は、この期間を準備期間と捉えて、粛々と取組みを進めていってほしい。
- まちづくりを進めていくことは、行政だけで解決できない部分もあるので、行政と民間が一緒になって進めていくことが重要である。
- 料亭「春海」の「GEUDA（ギウーダ）」としての活用を良い例として、市には文化財の現所有者との橋渡しの役目を担ってもらいたい。また、この施策は、一生懸命取り組んだけれども、結果としては文化財の保護に至らなかったということもある。そのあたりが市民に伝わっていないので、もっと市民に知ってもらえるように取り組んでほしい。
- 施策全体として、“不足している”という表現が多いように思うが、それに対応する今後の取組みが足りない。まずは広報紙で毎月PRするなど、もっと積極的な周知に取り組んでも良いのではないか。
- 個別施策 A2-1 において、市民協働の推進としているが、市には市民協働推進室がある。この部署を中心として、横断的な取組みを進めてほしい。
- コロナ禍の中で、市民協働のまちづくりを推進するためには、まちづくりのための人づくりを行う時間と捉えて、シニア世代が興味を持つような内容の検討やきめ細やかな周知を行っていくことが重要ではないか。

キ 次期総合計画の策定に向けた意見

なし